

犯罪から県民を守るアクションプログラム（仮称）（中間案）に対する県民からの御意見と県の対応方針
 ＜パブリックコメント実施期間：平成28年10月7日～11月7日＞

いただいた御意見の概要		県の対応方針	
該当箇所	御意見の主旨	対応内容	対応種別
p. 35	<p>重点テーマ2「子ども・女性・高齢者を犯罪から守る」に関連するグラフとして、「児童虐待相談対応件数の推移」及び「配偶者暴力相談支援センターにおける配偶者からの暴力が関係する相談件数の推移」を掲げているが、相談対応件数が増加したことを、児童虐待や配偶者からの暴力が増加したと勘違いする人がいると思う。</p> <p>掲げるグラフを認知件数に変更し、相談対応件数の増加は児童虐待や配偶者からの暴力が可視化されることであり良いことであるとされたい。</p>	<p>次の理由により、<u>原案どおりとします。</u></p> <p>児童虐待相談対応件数が高い水準で推移している背景には、家庭及び地域における養育力の低下等があると考えられます。一方で、地域社会の関心の高まりや、市町の児童相談体制強化支援の効果等も大きな要因と考えられます。</p> <p>配偶者からの暴力が関係する相談件数についても同様に、社会的関心の高まり等、さまざまな状況が背景にあると考えられます。</p> <p>これら2つの項目が、そのように複合的な背景をもって近年高水準で推移していることを認識した上で、相談対応が高いニーズを示していることを課題に関連づけて示すため、これらのグラフを掲げているものです。</p>	最終案への反映なし
p. 36	<p>重点テーマ3で「テロ対策を推進する」としているが、テロの定義が曖昧である。</p> <p>また、テロ対策は、不断の犯罪防止を行えば起こることのない問題である。別項目としてテロのための対策を掲げる必要はないと感じる。</p> <p>このように掲げることで、テロを行わせる目的にされるおそれがあると感じる。テロ対策などと、県民の不安をあおることは止めていただきたい。</p>	<p>次の理由により、<u>原案どおりとします。</u></p> <p>・「テロ」という言葉は一般的な用法にしたがって用いており、明確な定義はしていませんが、本文中で言及している「平成27（2015）年11月のフランス・パリにおける同時多発テロ事件」などに例示されるような暴力主義的破壊活動を指しています。</p> <p>・計画策定に先立って実施した意識調査の結果などから、伊勢志摩サミットの開催を契機に、「テロは他人事ではない」という意識が県民の皆さんに広がったと考えています。発生すれば重大な被害をもたらすテロを決して発生させないため、御意見にもあるように「不断の犯罪防止」に官民一体で取り組むことなどを通じて、テロを未然に防止しようとするものです。重点テーマに掲げ、テロ対策を他人事とせずに取り組むことが、県民の皆さんの安心につながっていくと考えます。</p>	最終案への反映なし
p. 38	<p>重点テーマ4で「IT社会における安全・安心を確保する」としているが、評価指標を持つことのできる「安全」とは異なり、「安心」には評価指標を持つことが困難であるため、「安心」の語は削除して「IT社会における安全を確保する」とされたい。</p>	<p>次の理由により、<u>原案どおりとします。</u></p> <p>確かに、「安心」を定量的に計測することは困難ではありますが、県民の皆さん等さまざまな主体の協創により、この重点テーマに取り組むことで、ITに関する「安全」につなげ、それによって皆さんが「安心」してITを活用した暮らしや社会経済活動ができることをめざし、この表題を掲げています。</p>	最終案への反映なし